

ちばっ子チャレンジ100

活用事例

概 要	
学 校 名	我孫子市立我孫子第二小学校
活用の仕方	ホームページからダウンロードした問題と解答集をプリントアウトし、すぐに印刷して使えるようにした。学年ごとに分けてファイリングし、職員室と印刷室の棚に置いた。課題が早く終わった児童に発展問題として取り組ませたり、家庭学習の課題として配付したりした。
成 果 等	国語に関しては漢字や言葉に関心を持たせ、語彙を豊かにする学習の手立てとして、算数に関しては発展問題として、理科に関しては知識を確認するための問題として主に活用した。全国学力・学習状況調査で出題された問題を参考に問題が作られているため、教科書やドリル学習には見られない問題があり、思考力を高めることに役立った。



ちばっ子チャレンジ100 活用事例

概 要	
学 校 名	銚子市立豊里小学校
活用の仕方	<p>国語・算数のすべての問題をプリントアウトし、ファイリングしたものを印刷室に常備し（写真1）、担任が必要に応じて印刷して使用している。</p> <p>朝8：00から8：15分までの時間を「チャレンジタイム」とし、全校統一して水曜日に国語、金曜日に算数の学習に取り組んでいる。（写真2・3）</p> <p>「チャレンジタイム」にちばっ子チャレンジ100を活用する際は、10分間のプリント学習、5分間の自己採点及び直しの時間と設定し（写真4）、短い時間で集中して取り組めるようにしている。</p>
成 果 等	<p>学習内容がより定着し、ドリル等の反復学習だけでは賄いきれない思考力を問う問題に触れる経験を多く積ませることができた。また、高学年では、プリントの配付や時間管理などを児童に任せたことで、係活動の充実化も図れ、児童主体の学習の場となった。（写真5）</p>



写真1：印刷室常備のファイル



写真2・3 「ちばっ子チャレンジ100」を活用しての自習の様子



写真4：自己採点をする児童



写真5 係活動を活用しての学習

ちばっ子チャレンジ100

活用事例

	概 要
学 校 名	成田市立向台小学校
活用の仕方	国語、算数の問題を印刷し、各学年の教室付近に設置した棚の引き出しに、問題ごとに分けて常備した。朝ドリルや自習及び夏休み中の自主学習会の課題として活用している。解答はパウチ加工をして同じ棚の引き出しに入れ、自己採点もできるようにしている。
成 果 等	引き出しから自分で問題を取り出し、積極的に学ぶ児童の姿が見られた。自主学習会では、やや難しい課題でも、高校生の学習支援ボランティアに助言をもらいながら挑戦するなど意欲的な取組が見られた。基礎から応用まで自分に合った課題で力をつけ、全国学力・学習状況調査では、国語・算数・理科の全国平均を上回る成果が見られた。



5年生「算数」のコーナー。児童にわかりやすくなるよう引き出しに教材名のラベルを表示している。



進んでチャレンジ100の問題に取り組む児童。自己採点して、終わったら既習範囲の別の問題用紙を取りに行く。



夏休みの自主学習会の様子(左2枚)。県立成田国際高等学校の生徒が学習支援をしてくれる。ちょっと難しい問題も、ヒントをもらえば・・・

ちばっ子チャレンジ100

活用事例

	概 要
学 校 名	八街市立交進小学校
活用の仕方	放課後に地域のボランティアの方々と子ども教室を開き，習熟を行うために活用した。特に算数の問題に繰り返し取り組んだ。 ホームページにリンクを貼り，家庭学習での活用を呼び掛けた。自主学習やテスト前などにダウンロードして活用している。
成 果 等	四則計算においても，基本的なものから，文章問題に至るまで様々な問題形式があるため，それぞれの速度に合わせて問題を用意し，活用することができた。深く考えないと解けない問題も用意されているので，問題を早く解き終えてしまう児童も意欲的に取り組むことができた。

プリント学習を繰り返し行った。すぐに近くの教師やボランティアの方に丸をもらったり，つまずきを教えてもらったりすることで，多様な問題に対応することができる児童が増えた。



学校のホームページに貼ることで，自主学習の課題にしたり，テスト対策などに活用したりする児童が多い。国語や理科もあるので，苦手な分野の克服に役立っている。

ちばっ子チャレンジ100

活用事例

概 要	
学 校 名	香取市立津宮小学校
活用の仕方	毎年12月の放課後に、4～6年生を対象に実施している「学部（まなぶ）」の中で活用している。主に国語・算数の問題の中から、課題があると思われる単元の問題を、各担任がホームページよりダウンロードしている。この「学部」では、全職員（校長・教頭も含む）が2～3名のチームを作り、指導に当たっている。
成 果 等	学習への意欲が高まり、集中して学習に取り組む様子が見られる。国語科・算数科を中心に基礎・基本の定着が図られている。低学年を担当する職員も「学部（まなぶ）」に参加することで、各学年の学習の系統性や児童の力で不足している点を把握でき、学習指導法の改善に役立てられている。



1枚終了したら次のプリントを受け取り、進んでいく。

各学級に2～3名の職員が入り、指導に当たっている。わからないところは質問し、じっくりと学習に取り組むことができている。



ちばっ子チャレンジ100

活用事例

概 要	
学 校 名	栄町立安食小学校
活用の仕方	国語科，算数科，社会科，理科の問題の復習や補充の必要がある内容について，各学年で印刷して児童に取り組みました。授業時（自習の課題としても含む），昼のドリルタイム，週末の自主学習に活用し，学習内容の定着を図るようにした。
成 果 等	教科書やドリル問題，ワークテストとは違った問題内容にも慣れ，文章を詳しく読んだり，筋道を立てて解いたりする力が少しずつ伸びてきている。また，学年内で共通に取り組むことによって，児童の学力の実態（学級差）をつかむのに役立てることができた。

◎各学級担任及び専科教諭，学習支援員がインターネットで「ちばっ子チャレンジ100」を検索して，必要な教科の単元及び学習内容を選び，印刷する。

- ①授業時に活用する。（学校での活用）
- ②昼のドリルタイムで活用する。（学校での活用）
- ③通常の宿題プリントして活用する。（家庭での活用）
- ④長期の休みの宿題プリントして活用する。（家庭での活用）



「ちばっ子チャレンジ100」を授業などに活用し，4年生以上の児童は，解答を見て，自分で丸付け及び訂正を行い，教師が必ず確認をしていく。

ちばっ子チャレンジ100 活用事例

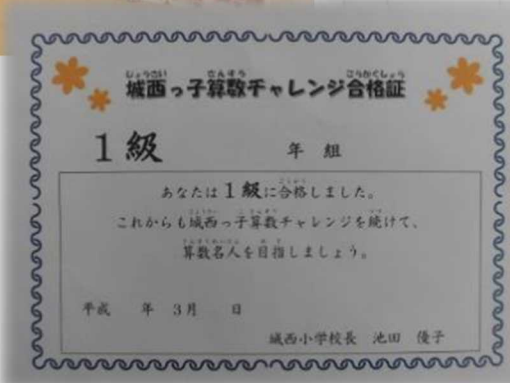
概 要	
学 校 名	東金市立城西小学校
活用の仕方	問題ごとに級を設けて、ドリルタイムの時間に取り組み、満点が取れたら個人記録表に各級の合格日を記入するようにした。満点を取らなくても、他の級に取り組んでよい。すべての級に合格したら全校朝会で呼名し、1級合格証を授与する。
成 果 等	児童は、1級合格証を目指して意欲的に取り組むことができた。また、休み時間や家庭学習の中でも繰り返し、自主的にプリントに取り組むことができた。多くの児童が合格できるよう、声かけや指導をすることで、学力向上につながった。



城西小 算数チャレンジ 記録表

級	単元	習熟度	チャレンジした日	合格日
1	四則計算(1)	✓	✓	✓
2	四則計算(2)	✓	✓	✓
3	1けたでたのわり算の筆算	✓	✓	✓
4	一筆おこし算	✓	✓	✓
5	小数(1)	✓	✓	✓
6	小数(2)	✓	✓	✓
7	まけたでたのわり算の筆算	✓	✓	✓
8	2桁÷1桁	✓	✓	✓
9	2桁÷2桁の計算	✓	✓	✓
10	小数×整数	✓	✓	✓
11	小数÷整数	✓	✓	✓
12	面積	✓	✓	✓
13	体積・平方と立方体	✓	✓	✓

子供たち一人一人のペースで進めることができました。



ちばっ子チャレンジ100 活用事例

概 要	
学 校 名	御宿町立御宿小学校
活用の仕方	「夏休みの学習会」や朝自習の課題として、また、授業内で必要に応じて活用している。本校独自の「がんばりカード」を作成し、主体的に学習する態度や基礎・基本の定着をめざして取り組んでいる。
成 果 等	主体的に問題解決しようとする姿が見られた。また、くり返し学習内容を確認することで、基礎・基本の定着の一助として効果的であった。そのため、その後の問題解決が容易にできるようになった。

【夏休みの学習会の様子】



【自分の進度に合わせて問題を選択し、学習する】

【自己採点をしている様子】

【教師による採点や助言】

(高学年)

(低・中学年)

「言語事項」を基本に問題を選んでいる。足りない場合には「学びの突破口ガイド」も活用している。

【がんばりカード】

各学年に応じたプリントをクリアしていく。
クリア（全問正解）すると担任は「◎の印」を押し、日付を書き込み記録していく。

学期末には、保護者が児童の頑張りを確認する。

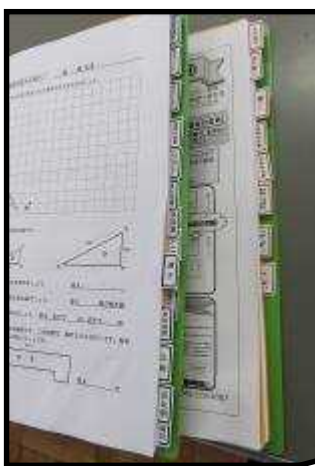
【表紙】

【例：1年生 左・国語 右・算数】

ちばっ子チャレンジ100

活用事例

概要	
学校名	市原市立青葉台小学校
活用の仕方	<ul style="list-style-type: none"> ・ちばっ子チャレンジ100を印刷室・職員室に配架し、いつでも手に取れるようにしている。問題・解答は両面印刷してファイリングしている。インデックスや問題内容一覧を作成・添付し、該当ページをすぐに開けるようにしている。また、校務サーバーに県教委ホームページへのリンクを貼り、担任がすぐに問題を閲覧・印刷できるようにしている。 ・理科の全学年問題を理科室前に掲示し、自由に手にとって取り組めるようにしている。
成果等	<ul style="list-style-type: none"> ・環境を整備したことで、すぐに活用できるようになり使用頻度が増えた。教材作成時間・選定時間の短縮、削減につながっている。また、他学年の問題もすぐに印刷できるようにしたことで、児童の実態に合わせた活用ができた。(補充学習、前学年の内容の確認等) ・理科では全学年の問題を掲示したことで、他学年の問題に関心を示したり、進んで手にとって取り組んだりする児童がいた。



インデックス
問題内容一覧

5年算数 目次	
1	小数と整数
2	小数のかけ算①
3	小数のわり算①
4	小数のわり算②
5	分数のわり算
6	分数
7	分数のたし算・ひき算
8	単位量あたりの大きさ①
9	単位量あたりの大きさ②
10	平均とその利用
11	割合①
12	割合②
13	割合③
14	割合④
15	割合⑤
16	面積①
17	面積②
18	面積③
19	面積④
20	比①
21	比②
22	体積①
23	体積②
24	反比例③
25	体積③
26	合同な図形
27	角柱と円柱
28	比角
29	チャレンジ問題①(サイコロ)
30	チャレンジ問題②(三角形を折る)
31	チャレンジ問題③(空箱の体積)
32	チャレンジ問題④(倍数・公倍数)
33	チャレンジ問題⑤(公倍数)
34	チャレンジ問題⑥(くもくもって変わる量)
35	チャレンジ問題⑦(いろいろな場合を考える問題)
36	チャレンジ問題⑧(条件を考える)
37	チャレンジ問題⑨(条件整理問題)
38	チャレンジ問題⑩(平均や整数を使う問題)
39	チャレンジ問題⑪(面積を分ける問題)
40	チャレンジ問題⑫(条件整理問題)
41	チャレンジ問題⑬(割合の問題)
42	チャレンジ問題⑭(計算の工夫)
43	チャレンジ問題⑮(空気料金と割合)
44	チャレンジ問題⑯(組合の問題:編列)
45	チャレンジ問題⑰(倍数・公倍数)
46	チャレンジ問題⑱(たみおのしき方)
47	チャレンジ問題⑲(長さの単位:ひら)



理科室前に問題を掲示
(裏に解答を掲示)

ちばっ子チャレンジ100

活用事例

	概 要
学 校 名	鋸南町立鋸南小学校
活用の仕方	ダウンロードした問題の中から、1ページで、10分程度で取り組めそうな問題を精選し、印刷して、廊下の棚に入れている。5校時の前に、基礎・基本のプリントの他、活用問題のプリントとして利用できるようにしている。
成 果 等	活用問題に取り組むことで、千葉県標準学力検査の結果から明らかになった課題の克服を目指している。印刷して常備することで、短時間で知識を活用するための練習問題として、利用しやすい形になった。そして、問題を注意深く読み取ろうとする児童が増えてきている。



ちばっ子チャレンジ 100 のプリントなどを、専用のレターケースを購入して、いつでも活用できるようにしている。ここから児童が自分に合ったものを選んでいく。